

アーカイブズ

ARCHIVES

沖縄県公文書館だより 第46号

平成26年3月中旬発行

特集 陸軍兵籍簿の保存について

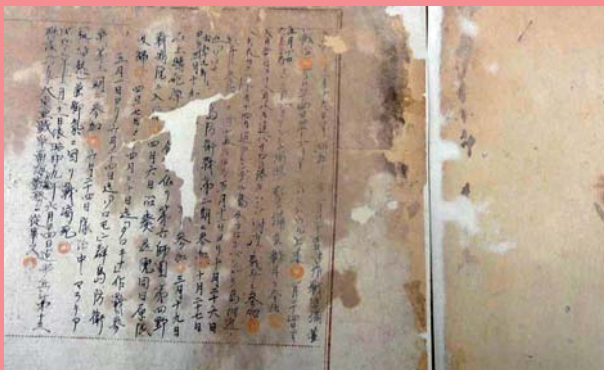
兵籍簿の修復前後



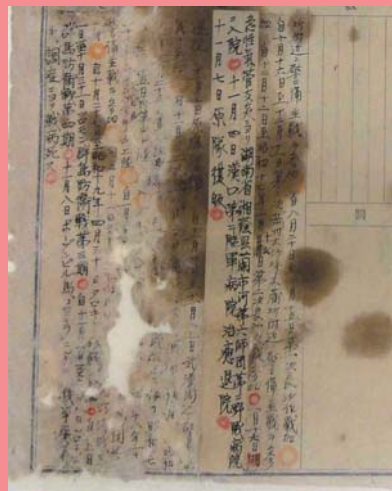
修復前



修復前



修復後



修復後

特集

「陸軍兵籍簿の保存」

沖縄県公文書館所蔵
「陸軍兵籍簿」の保存

一九四五年に第二次世界大戦が終結し、来年二〇一五年には戦後七〇年の節目が訪れます。鎮魂と平和への思いを新たに、過去の戦争の記録や記憶をたどり、歴史を振り返る機会が増えることでしょう。

身近な人々、たとえば家族や親戚、地域の人々がいつ召集され、どのような戦場へ送られ、いつ負傷したのか、戦死したのか、または無事に復員したのでしょうか。そのような個別の履歴を記録した「陸軍兵籍簿」が、公文書館で保存されています。

その内容は、従軍者本人だけでなく家族に関する個人情報でもあるため、現時点では規則により本人もしくは三親等以内の親族の方のみの閲覧と制限しております。しかし将来的には公開され、県民を動員した戦争の実体を知るための歴史資料として広く活用されるものと思われれます。

本稿では、このような重要な公文書の保存に関する公文書館のこれまでの取り組みをご紹介します。

■陸軍兵籍簿とは

日本陸軍は国民皆兵制度を採り、膨大な量の人事記録を保有していました。兵籍簿はそのような人事記録の典型で、軍人としての身分に関する事項を登記した帳簿であり、「軍人の戸籍」と言うべきものです。現在は旧陸軍省からこれらの移管を受けた都道府県が軍歴証明等の事務を行っています。

終戦時、軍歴のある者は約九七〇万人でしたが、現在都道府県が保管している陸軍兵籍簿は約七三〇万人分と言われています（近藤貴明「アジア太平洋戦争期における陸軍工員の人事記録―工員名簿、工員手帳、共済組合原票、留守名簿の制度的概略と戦後の残存状況」大原社会問題研究所雑誌No.638 2011・12所収）。



写真1
陸軍戦時名簿

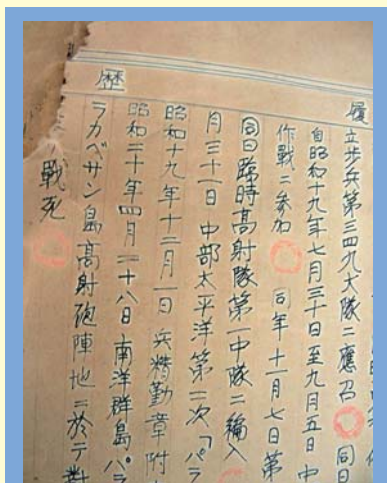


写真2
陸軍戦時名簿の履歴部分

沖縄県の援護業務所管課は、沖縄県に本籍を有する陸軍軍人の兵籍簿を引継いで窓口事務にあたっていますが、劣化が著しい原本は平成八年度に公文書館に引渡されました。（海軍軍人・軍属の軍歴証明事務は都道府県でなく厚生労働省社会援護局の所管です）いま陸軍兵籍簿二一四簿冊は専用の保存箱に収納され、温湿度管理された書庫で大切に保存されています。簿冊は本籍市町村別に分かれ、一簿冊あたり九〇人分程度を目安として書類が綴られています。

■陸軍兵籍簿の内容

陸軍兵籍簿は、ひとりひとり作成される「陸軍戦時名簿」とさまざまな添付書類の集合体です。陸軍戦時名簿（表紙写真参照）には、本籍氏名、留守家族の住所氏名、服役区分、位階、勲等勲級、官等級、軍での詳細な履歴等が記載されます。



写真3.4
陸軍兵籍簿の外形

これに続けて、野戦病院での病床日誌、病歴書や死亡証書等、戦病死状況概要等が添付され、さらに戦後の追跡調査、軍人恩給関係の情報が追加されていることもあります。

上官や軍医はしばしば、死に至った戦闘状況や経過について詳細な記述を残しました。戦闘による負傷、栄養失調、マラリア、肺結核、精神疾患などが原因で命を落とした兵士たちの記録は、戦場の実相を偽ることなく私たちに伝えていきます。

■ 文書を劣化から守るために

陸軍兵籍簿の状態は概してきわめて不安定です。戦時中の物資状況を反映して質の悪い紙も多く用いられており、素材やサイズも多様で、油污れやシミも目立ちます。全体的に破れやすり切れが多く、酸性化した紙の力は衰えており、文書保存箱内に平置きしているだけでも本紙から細片が剥離して落下しているのが確認できます。

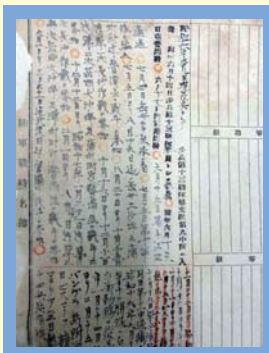
公文書館では平成十五年度から十六年度にかけて実施した「琉球政府文書保存状態調査」により、陸軍兵籍簿の劣化の進行を確認し、全二一四簿冊のうち二七冊が「強劣化」と判定されました。残りの簿冊は「中劣化」判定となりました。（詳しくは、大湾ゆかり「琉球政府文書保存状態調査の報告」沖縄県公文書館研究紀要第九号 二〇〇七年三月）。

「強劣化」判定の二七冊のうち二〇冊は、「琉球政府文書緊急保存措置事業」により補修しました。残る強劣化七簿冊と中劣化一八七簿冊の保存措置を計画的に実施する必要があります。

■ 公文書を後世へ引き継ぐ

旧軍人の軍歴証明は、恩給及び各種共済組合の退職年金への通算対象となるほか、各種申請のために用いられるものです。兵籍簿はその基礎資料ですが、本来の作成・保管目的を達したからといって一律に廃棄されるものではありません。非現用となった重要な内容を有する公文書は、公文書館で歴史資料として新たな役割を果たす段階が待っています。

県の各機関は重要公文書を公文書館へ確実に引渡し、公文書館はそれらを劣化の危険から守るという確実なリレーによって、県民共有の知的資源としての公文書が継承できるのです。



修復前～修復後

アーカイブズオンライン

常設展示

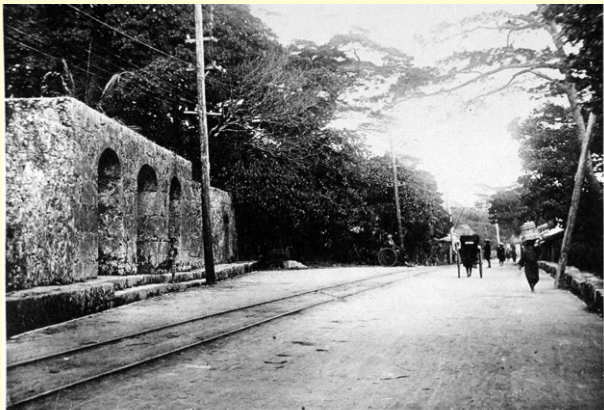
ミニ企画「写真にみる近代の沖縄」

平成二五年度第二回常設展示を十二月十七日(火)から開催しました。

ミニ企画「写真にみる近代の沖縄」と題し、明治時代～昭和初期の写真を展示しています。ミニ企画の写真資料と資料目録は、公文書館Webページからもご覧いただけます。どうぞご利用ください。



タイトル：那覇港棧橋見送風景
年代：昭和10年頃(1935年頃)
出典：『沖縄縣人物風景写真大観』
資料コード：T00014050B



タイトル：崇元寺
年代：大正14年(1925年)
出典：『沖縄寫真帖』 第二輯
資料コード：T00015033B



(影撮館筑城金) 景校學小武金

タイトル：金武小学校全景
年代不詳
出典：『金武名所絵葉書』
資料コード：T00016123B



タイトル：宮古の司たち
年代：昭和11年(1936年)
出典：『河村只雄写真資料』2
資料コード：T00022427B



タイトル：琉球風景 甘蔗市場
年代不詳
出典：『絵はがき 5枚』
資料コード：T00016981B



ホームページ画像

■ **トップページに画像を追加しました。**

当館ホームページへアクセスするごとに画像が入れ替わります。画像には公文書館内の様子がわかる写真を選定しました。

POINT 1

利用者が目的の情報をスムーズに入手でき、さらに公文書館での取り組みを多くの人に認識してもらえよう、ホームページを一部リニューアルしました。

ホームページを一部リニューアルしました。



POINT 3

■ **簡易検索機能を追加しました**
 当館で利用の多い「所蔵資料検索」と「写真が語る沖縄」の簡易検索が行えます。詳細検索をクリックすると従来の検索トップ画面へリンクしています。検索できるデータは、所蔵資料約七万件、写真資料約六万件です。



簡易検索画面

POINT 2

■ **動画コンテンツをモバイル端末で**
 米国記録映像をスマートフォンやタブレット端末からご覧いただけます。戦中・戦後の沖縄の様子がわかる内容です。ご覧いただける映像は、戦中映像一二点、戦後映像一〇一点です。



戦中映像 121点



戦後映像 101点

お知らせ

平成二十五年年度の県文書受入について

沖縄県公文書館は、保存期間が満了し、廃棄の決定がされた沖縄県の公文書を受け入れていきます。平成二十五年度は、十二月末現在、二、四六五箱の引渡がありました(表)。

(表)平成25年度の県文書の受入数

No	引渡元	引渡日付	箱数
1	農林水産部八重山農林水産振興センター	2013年7月17日	6
2	環境生活部生活衛生課	2013年8月20日	11
3	総務部管財課	2013年9月10日	12
4	総務部総務私学課	2013年8月3日	2349
5	知事公室基地対策課	2013年11月15日	26
6	教育庁総務課	2013年12月10日	61
計			2465

主な受入は、文書主管課である総務私学課が管理する文書保存管理庫で保管され、廃棄決定された文書がもつとも量が多いです。また、各課の執務室や出先機関で保管されていた文書についても個別に公文書館への引渡がありました。

引き渡された県文書目録を検索できます

公文書館のホームページからこれまでに県から引き渡された文書保存箱の目録が検索できます。トップページの右バナーのメニュー「目録をみる」を選ぶと、「資料をさがす」のページに移動します(画像1)。さらに「引渡目録」のボタンを選択すると、目録検索の

ページに移動します(画像2)。

検索方法ですが、保存箱タイトル(類名)、引渡課、文書保存箱番号を検索文字列欄に入力して検索できます。検索結果一覧の項目「管理」に「未整理」と表示されている場合は、個人情報保護のための審査等を行うため、申請の際にしばらくお待ちいただく場合があります。詳しくは閲覧室にご相談ください。

画像1



画像2



『行政記録データベース』のご紹介

行政記録は、戦後まもなく設置された沖縄諮詢会、民政府、群島政府、琉球臨時中央政府、琉球政府、そして現在の沖縄県に至る行政機関の主要な活動や出来事の記録を日記式に編集したものです。

当館では、これをテキストデータベース化し、パソコンから検索できるサービスをホームページで開始しました。特定の出来事、人名、日付等をキーワードにすることで、該当

する情報を選び出して表示できます。
“あの日沖縄で何があったのか”を調べるツールとしてご利用いただけます。

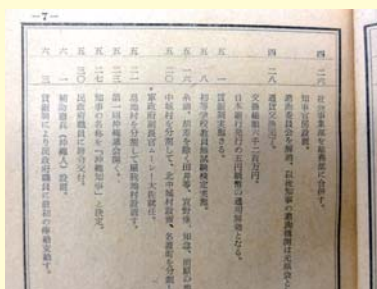
キーワードに行政主席や知事又は外国要人等の名前を入力して検索すると、当該人物に関連する主要な出来事が日を追って表示されます。

また、収録されている情報は行政の活動だけではありません。例えば、「来島」や「来沖」で検索すると様々な著名人が当時の沖縄に来たことがわかります。「1955年11月16日、球団ニューヨーク・ヤンキース来島」のように「へえ〜」と言いたくなる情報も埋めています。

(平成二六年三月三二日現在、昭和五九年まで収録)



行政記録 1



行政記録 2

当館ホームページから「行政記録データベース」がご利用になれます。

平成二五年度 移動展
「資料にみる宜野湾市の戦後」

平成二五年九月十一日～二十九日まで宜野湾市立博物館において宜野湾市教育委員会との共同企画による移動展「資料にみる宜野湾市の戦後」を開催しました。会場には当館と宜野湾市教育委員会所蔵の戦後の宜野湾市に関する資料を展示しました。

十五日間の開催中、子供からお年寄りまで六三六人が来場しました。

当館の移動展では初の共同企画開催でしたが、取り組みを通して、関係機関との連携、地域とのコミュニケーションの重要性を認識することができました。



進化型！

充実した複写サービス

■持ち込み機器による複写(無料)

利用者ご自身で持参するパソコンにデジタル化された写真や映像資料を取り込んでいただくことができます。また他の機材の持ち込みによる一部紙資料の複写もできます。

◆このサービスが利用できる主な資料

- 光ディスク(CD/DVD) 収納資料
 - ・ 琉球政府関係写真約四二、五〇〇枚
 - ・ 米国収集写真約二二、七〇〇枚
 - ・ 沖縄戦関係映像約フィルム二〇〇本
- その他、参考資料室資料、紙の公文書等

◆持ち込み可能な機器について

- ノート型パソコン
 - ※ USBメモリはセキュリティ上、当館の機器には使用できません。
 - ※ 複写に必要なソフトウェアの提供はしておりません。
 - デジタルカメラ
 - イメージスキャナ
- ※ 数に限りはありますが、外付けディスクドライブの貸出しをしています。

■遠隔地複写(有料)

◆ 公文書館への来館が難しく、資料コードと複写範囲が特定できている場合に限り、遠隔地複写サービスを行っています。(一部対応できない資料があります。)

- 複写料金の支払い、発送方法等、詳しくは閲覧室までお問い合わせください。
(閲覧室直通 098-8888-3871)

当館ホームページの利用案内にも紹介しています。



デジタルカメラでの撮影



光ディスクのデータを持ち込みのパソコンへコピー

無料です！



視察・見学のご案内

■ 公文書館を見学してみませんか？

当館では個人、団体見学を随時受け付けています。

◆ お申込み方法

まずはお気軽にお電話ください。日程とコースの調整を行います。調整が済みましたら見学申込み書に必要事項を記入後、見学当日に持参してください。



個人・団体からの申込みを随時受け付けています。

■ 見学コースのご案内

平日(ガイドが同行します)

◆ 公文書館機能の紹介

「行政の記録センター」としての公文書館の役割、所蔵資料の紹介をします。

◆ 映像資料の上映

戦前・戦後の沖縄を記録した映像資料をご覧ください。

◆ 閲覧室のご案内

閲覧室の利用方法や写真資料をご紹介します。

(所要時間三〇分〜九〇分)

土日(ガイドなし)

展示室、閲覧室をご覧ください。お気軽にスタッフまでお問合せください。

利用案内

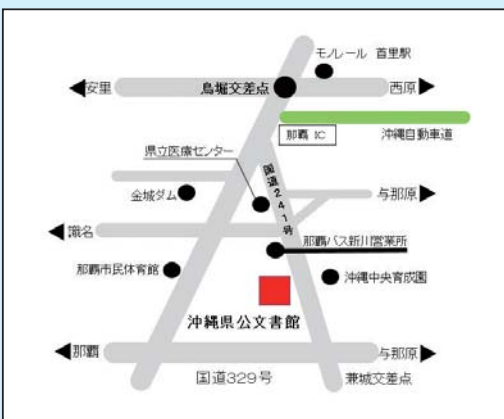
入館 入館無料

開館時間 午前9時から午後5時まで
(閲覧・複写申請は午後4時30分まで)

休館日 月曜日、国民の祝日である休日、慰霊の日、年末年始12月29日から1月3日
*土・日は国民の祝日及び慰霊の日を除いて開館しています。

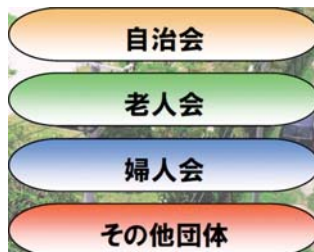
- ・お探しの資料がありましたらお気軽に閲覧室へお尋ね下さい。電話やFAXでのお問い合わせもどうぞ。
- ・参考資料室の資料や空中写真システムは閲覧申請なしでご利用いただけます。
- ・書庫の資料を閲覧する際は、「利用証」の作成が必要となります。利用証は、現住所が確認できる身分証明書(運転免許証や保険証など)をご提示いただければすぐ作成できます。利用証は、発行から1年間有効です。
- ・閲覧室での筆記用具は鉛筆をご使用ください。
- ・鞆や袋類はロッカーにお預けください。(百円硬貨が必要ですが、使用後は返金されます)
- ・資料の館外貸出は原則として行っていません。閲覧および複写でご利用下さい。複写は実費が必要です。

交通案内



バスのご案内

- ・那覇バス(株) 1・2・3・5・14・15・16番線 新川営業所下車1分
- ・東洋バス(株) 91番線 新川バス停下車1分



など…

ご利用いただいております。



映像資料の上映



閲覧室のご案内



展示室で資料解説

見学メニュー

平日

ガイド付き

※平日は、展示・閲覧室案内、映写会、業務見学など、ご要望に応じて、ガイド付きの見学メニューをご用意できます。

土日

ガイドなし

※平日は、業務体制の都合上、ガイドなしでの映写会・展示等の自由観覧となりますので、ご了承下さい。